建築基準法第 12 条第1項、第3項の規定に基づく定期報告制度において、調査、検査の 合理化や新技術の活用を可能とするため、調査・検査の項目、事項、方法及び結果の判定基準 並びに調査結果表等が見直され、**令和7年7月1日から**施行されます。

☞ 詳しくは、下記の国土交通省 HP「建築基準法に基づく定期報告制度について/4. 調 査・検査項目告示」をご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku\_house\_tk\_000039.html

## なお、本改正のうち、次の内容については、特定建築物定期調査にて実施、報告いただき ますようお願いします。

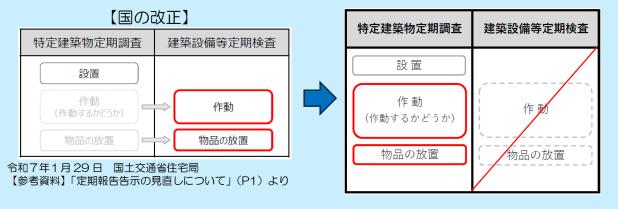
(所在地が下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、岩国市及び周南市にあるものについては、各市の建築行政 主管課へお問い合わせ下さい。)

## 特定建築物定期調査と建築設備等定期検査との重複について

## 【山口県の場合】

- 「換気設備」、「排煙設備」、「可動式防煙壁」、「非常用の照明装置」の作動の状況
- 「換気設備」、「非常用の照明装置」の物品の放置の状況

の確認は、引き続き、特定建築物定期調査で実施してください。

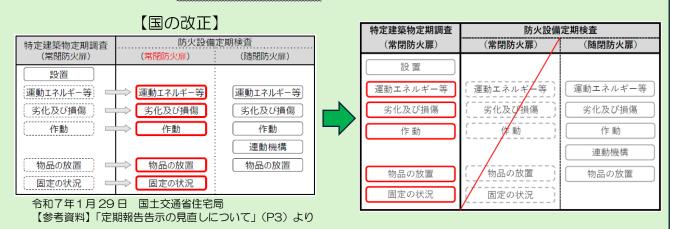


特定建築物定期調査と防火設備定期検査との重複について

## 【山口県の場合】

「各階の主要な常閉防火扉」(※)について、運動エネルギー等、本体と枠の劣化及び損 傷の状況、作動の状況、物品の放置の状況、固定の状況

の確認は、引き続き、特定建築物定期調査で実施してください。



- ※原則、「①避難経路に設けられたもの」、「②吹抜きに面して設けられたもの」、「③日常の通行が多く開閉作動の頻度 の高いもの」、その他安全上必要なものが調査対象となります。
- ※「②吹抜きに面して設けられたもの」の竪穴区画のうち、昇降路に設ける防火扉は、従前通り昇降機定期検査の対象 です。
- 報告時期や様式等は下記 HP をご確認ください。